

卒寿記念 人間国宝

鈴木藏の志野展

2025年
3月29日(土)
～6月1日(日)岐阜県現代陶芸美術館
ギャラリー1

志野茶碗 2023年 個人蔵

卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展

Shino Type by SUZUKI Osamu a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday

展覧会概要

日本の、そして美濃陶芸の現在を代表する陶芸家、鈴木藏（1934 年生まれ）は、荒川豊蔵（1894-1985）に続き、二人目の「志野」における重要無形文化財保持者（人間国宝）です。令和6年度、文化功労者に顕彰されました。

鈴木藏は岐阜県土岐市に生まれ、多治見市市之倉の丸幸陶苑に勤務する父の助手として働く中で、本格的にものづくりの道へと進むことになります。1966年に31歳で独立。薪窯でしか焼けないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、自然への畏敬の念を重んじ、伝統を大切にしながら独自の作陶スタイルを確立していきます。

「志野には日本人の美意識の独特さと素晴らしさがある」と語る鈴木藏。作品を作るなら「新しく、力強いもの」という姿勢を崩さず今日まで取り組んできました。

本展では2024年12月に卒寿を迎えた鈴木藏の初期から最新作までを一堂に展示します。古典を大切にしつつ自らの美意識を映し出した、独自性に富んだ作品を展示し、鈴木藏の軌跡と“今”を紹介します。



鈴木藏氏近影

展覧会情報

- 会場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1
- 会期：2025年3月29日(土)～6月1日(日)
- 休館日：月曜日(ただし、5月5日は開館)、5月7日(水)
- 開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
- 主催：岐阜県現代陶芸美術館、NHK エンタープライズ中部
- 共催：中日新聞社、東海テレビ放送、TOKAI RADIO
- 観覧料：一般1,000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下無料

*()内は20名以上の団体料金

*以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、
特定医療費(指定難病)受給者証・登録者証

《志野陶塑》2021年 個人蔵

同時開催 | ギャラリーII - A室 香りとやきもの - 掌のうつわからオブジェまで
B室 コレクション・ハイライト
D室 令和6年(2024)度新収蔵品

2025/4/26 - 2025/6/15

見どころ

■ 鈴木藏の志野—創作の軌跡にせまる ■

高校卒業後、多治見市市之倉の丸幸陶苑に勤務する父の助手として働いたのち、本格的なやきものづくりの道に進んでいった鈴木藏が独立したのは、1966年31才のときでした。そしてガス窯で焼く、独自の志野の世界を拓いていきます。本展では独立前後の時代、最初期の作品から現在までの代表作で、その歩んできた創作の軌跡をたどります。

■ 新作ずらり・鈴木藏の“今”を知る ■

鈴木は志野に日本人の美意識の独特さと、その素晴らしさを見だし、常に「新しく、力強いもの」という姿勢で今日まで取り組んできました。本展では、2024年の卒寿を前に鈴木が本展のために制作した最新作の茶碗が、展示冒頭にずらりと並びます。鈴木藏が向き合う志野の“今”が、そこに現れています。

■ 桃山時代の志野の名品を特別出品 ■

志野を作陶の中心におく鈴木藏にとり、美濃桃山陶は師であり、素材や質感、造形、装飾など制作における多くの教えを受けました。一方で、桃山時代にはない成形方法や装飾技法を取り込んで、今の時代に生きる作り手としての志野を生み出しています。人々を魅了してやまない志野。重要文化財を含む桃山時代の名品5点を特別出品し、その志野の魅力を紹介します。



重要文化財《鼠志野茶碗 銘 峯紅葉》
桃山時代 16～17世紀
五島美術館蔵

関連イベント

講演会

* 聴講無料・要事前申込 * 定員 50名

「志野の魅力—人間国宝 鈴木藏の作陶と作品—」

講師：唐澤昌宏（本展監修者・国立工芸館館長）
日時：5月3日（土・祝）14:00～15:30
会場：岐阜県現代陶芸美術館
プロジェクトルーム

ギャラリートーク

* 事前申込不要
* 参加無料 要観覧券（高校生無料）

日時：4月13日（日） 各日 14:00～
5月11日（日）

トークイベント

* 聴講無料・要事前申込 * 定員 50名

「美濃陶芸・次世代の挑戦者たち」

美濃を拠点に活動する、次世代の陶芸家たちが向き合う「伝統」についてお話しいただきます。

出演：酒井博司（志野・土岐市）
鈴木徹（緑釉・多治見市）
若尾誠（青瓷・多治見市）
日時：5月17日（土）14:00～15:30
会場：岐阜県現代陶芸美術館
プロジェクトルーム

○他にも、本展会期中にさまざまなイベントを開催いたします。詳しい内容や申込方法、ここに掲載していないイベントについては、当館HP等でお知らせいたします。

展覧会紹介文サンプル

● 50 字版

「志野」の重要無形文化財保持者（人間国宝）である鈴木藏の作陶の軌跡と“今”を紹介する卒寿記念展。

● 100 字版

日本を代表する陶芸家であり 2024 年 12 月に卒寿を迎えた人間国宝・鈴木藏の初期から最新作までの作品を一堂に展示。古典を大切にしつつ自らの美意識を映し出した、独自性に富んだ作品から、鈴木藏の軌跡と“今”を紹介。

● 150 字版

日本を代表する陶芸家、鈴木藏は「志野」における重要無形文化財保持者（人間国宝）であり、令和6年度には、文化功労者に顕彰された。本展では、2024年12月に卒寿を迎えた同氏の初期から最新作までの作品を一堂に展示。古典を大切にしつつ自らの美意識を映し出した、独自性に富んだ作品から、鈴木藏の軌跡と“今”を紹介。

【お問い合わせ】

岐阜県現代陶芸美術館（展覧会担当：学芸部 花井素子）

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパークMINO内）

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101

HP: <https://www.cpm-gifu.jp/museum>

E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



広報用写真申込書

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展』の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、下記FAX番号またはメールアドレスまでお申し込みください。ご希望の写真にを入れてください。



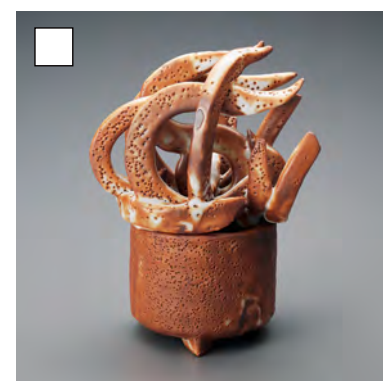
《志野茶碗》2023年 個人蔵



《志埜大皿》1991年 国立工芸館蔵



《志野陶塑》2021年 個人蔵



《志野香炉》2017年頃 個人蔵



《志埜蓋付碗》1990年 阿含宗本山蔵

特別出品



重要文化財
《鼠志野茶碗 銘 峯紅葉》
桃山時代 16~17世紀
五島美術館蔵

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

展覧会担当：花井

写真データ貸出：野田・廣澤

貴社名 (ご担当者)

ご住所 〒

お電話

FAX

E-mail

掲載媒体名

題目

掲載予定日

備考

○写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

○使用される場合は、左記キャプション及びクレジットをご明記ください。

○デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段については原則としてメール送信（画像サイズは1点300~500KB程度）となります。

○大きなサイズの画像がご入用の場合は、担当までご連絡ください。

○ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いに存じます。

展覧会担当：花井

写真データ貸出：野田・廣澤



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801
岐阜県多治見市東町4-2-5
TEL : 0572-28-3100
FAX : 0572-28-3101